

内閣総理大臣杯争奪 第52回西日本実業柔道団体対抗大会
対戦成績

勝敗の表示について

便宜上、勝敗の表示は以下の記号といたしています。

一本勝
技あり 指導3
有効 指導2
判定

男子第1部

第1回戦

旭化成 B

(先鋒) 河添 佑 4段
(次鋒) 出口 雄樹 4段
(中堅) 白井 勇輝 4段
(副将) 西田 泰悟 3段
(大将) 大束 匡彦 3段

- 0 奈良少年刑務所

内股 竹村 俊哉 5段
引分 諸見里 真経 3段
背負投 岩切 省吾 3段
大外落 船津 正貴 4段
合せ技 迫田 壮輔 3段

新日本製鐵

(先鋒) 吉永 慎也 4段
(次鋒) 酒井 高喜 3段
(中堅) 小野 勇輝 2段
(副将) 増田 哲也 3段
(大将) 松宮 広 3段

1 九州電力

大内刈 七戸 龍 3段
反則負 帆高 純平 3段
崩縦四方固 川波 慎太郎 5段
引分 山本 泰三 3段
優勢勝 森 俊介 3段

旭化成 A

(先鋒) 吉田 優也 3段
(次鋒) 大鋸 新 5段
(中堅) 西潟 健太 4段
(副将) 百瀬 優 3段
(大将) 高井 洋平 5段

1 東レ滋賀

背負投 角 明典 3段
上四方固 黒澤 平 3段
払腰 増子 洋平 3段
反則負 河井 修二 3段
優勢勝 青木 和明 3段

ダイコク

(先鋒) 金子 博史 3段
(次鋒) 井原 徹也 初段
(中堅) 反中 佑起 3段
(副将) 吉園 勇太 3段
(大将) 合田 良太 3段

1 大阪刑務所

払腰 鈴木 康太郎 4段
横四方固 井手 保宏 4段
大内刈 松本 亮佑 3段
引分 岳川 政秀 4段
払腰 黒島 陽樹 3段

準決勝戦第1試合

旭化成 B

(先鋒)	出口	雄樹	4段
(次鋒)	海老	泰博	3段
(中堅)	白井	勇輝	4段
(副将)	西田	泰悟	3段
(大将)	大束	匡彦	3段

0 新日本製鐵

肩固	酒井	高喜	3段
引分	吉永	慎也	4段
引分	松宮	広	3段
掬投	増田	哲也	3段
	小野	勇輝	2段

準決勝戦第2試合

旭化成 A

(先鋒)	塘内	将彦	5段
(次鋒)	大鋸	新	5段
(中堅)	西潟	健太	4段
(副将)	木村	純	3段
(大将)	高井	洋平	5段

0 ダイコ口

引分	反中	佑起	3段
大外刈	吉園	勇太	3段
大外刈	金子	博史	3段
反則負	井原	徹也	初段
内股	平井	泰輔	2段

決勝戦

	旭化成 B	0	-	旭化成 A		
(先鋒)	出口 雄樹	4 段	引分	百瀬 優	3 段	
(次鋒)	海老 泰博	3 段	内股	高井 洋平	5 段	
(中堅)	白井 勇輝	4 段	引分	西潟 健太	4 段	
(副将)	西田 泰悟	3 段	引分	木村 純	3 段	
(大将)	河添 佑	4 段	横四方固	吉田 優也	3 段	

先鋒戦。

共に右組み。旭化成 A の新人百瀬が前に出る。これに対し、同 B の出口は退きながら手数を重ねる展開が続く。両者が互いに仕掛ける内股も不発に終わり、引分け。

次鋒戦。

暫し組手争いの後、組み合った試合開始わずか 1 3 秒、旭化成 A の高井が得意の左大内刈から左内股への連絡技が見事に決まって一本。

中堅戦。

左右のケンカ組手。右組みの旭化成 B 白井は 2 0 c m の身長差をものもせず、素早く動いて背負投で同 A の西潟を揺さぶり、互角に戦う。西潟は小兵の白井を持って余して決定打を放てず時間が経過。終盤に組み合うことを嫌った白井に残り 3 5 秒、指導 1 が与えられるもそこまで。僚友同士の対戦は場内の歓声が途絶え、淡々と進む。

副将戦。

旭化成 B 西田が左組み、同 A の木村は右組み。組手争いで共に十分な体勢を果たせず、見るべき技の応酬も無く、引分ける。

大将戦。

開始早々、旭化成 B の河添が払腰を仕掛け、潰されて伏せたところを、同 A の期待の新人吉田は、巧みに寝技に引込み、3 8 秒押さえ込みに入る。河添はこれを二度にわたり解くが、吉田は必要に攻め続け、遂に 1 分 1 2 秒に崩壊装固から横四方固で押え込むと、河添は力尽きブザーが響く。重量陣を中心にチーム編成した旭化成 A に対して、比較的軽いクラスで編成した同 B が奮闘したが、実力差を覆せず。同 A は昨年の雪辱を果たして内閣総理大臣杯を抱く。

尚、男子第 1 部は、初戦敗退の 4 チームによる抽選の結果、九州電力、大阪刑務所の 2 チームが第 2 部に回るようになった。